

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
岡田大助	基礎教養	人間学演習II	科目に対するアンケートの評価は、全学平均と比べて、ほとんどの項目でそれ以上の評価を得ており、高い評価を得た。しかしながら、その割には、最後の「人に勧めたい」という項目が、4.4と、標準的な評価だった。これは、熱心さに満点がついていたことと、授業で説明する内容が毎回多めだったことから、内容は面白いが、量が多く好みが分かれるので、人に勧めるかといえば微妙だということと理解した。また、最後までついてきてくれた学生の評価は高かったが、途中で履修を辞める学生も一定数いたことから、内容が多すぎた可能性は否定できない。来年度は、不要な内容を削ってよりコンパクトにし、その分丁寧に解説するよう心掛けたい。
福田 一彦	人間心理	教育心理学	全般的に高い評価を頂いたと思う。自由記述欄のコメントには、「難しかったが面白かった」というコメントが複数あった。昨年の動画の使いまわしではないかとの指摘もいただいたが、その通りでした。今年度用には新しく撮りなおそうと思います。
福田 一彦	人間心理	心理学概論	全般的に高い評価を頂いたと思います。ありがとうございます。以下に自由記述欄のコメントを列記します。「毎回資料が見やすかったのですが、フロイトについての資料が見にくく復習する為に見返しがらんど感じました。」「他の心理学の科目と重なる点もあり、その参考にもなりました。」「専門用語や難しいこともあったが、授業動画の時間も長すぎず、進んで取り組むことが出来ました。」「心理学概論という基礎中の基礎を福田先生が分かりやすくご教授して下さいましたのでとても助かりました。内容は難しくとも話を聞いていけば十分に理解できたのでとても良かったと思いました。」「心理学を学ぶ上での基本的な知識が幅広く知れたので良かったと思います。」「授業プリントも写真付きで分かりやすいものになっていて授業を受ける側として良かった。」「授業に対して質問する（出来る）トピックが用意されているが、受付が無制限なのでクラスルームのToDoに同じものがたまり続けてしまうので、終了期限を付けるか、一つのみに掲示する（募集場所を一つにする）などをしてほしかった。」「授業が短い時間で区切られていたので、ノートや情報が整理しやすく、とても快適な授業でした。」「基本的に配布資料に沿ってすすめられていきますが、資料にない面白い話や教授個人の意見も聞けたので、個人的にはとても楽しく講義に取り組むことが出来ました。一年間有難うございました。」「一年間という長い期間ありがとうございました。」「とても勉強になりました。色々なことが知れて楽しかったです。」「ありがとうございました。」「1年間ありがとうございました。オンデマンド授業ということで対面で出来なくて残念でしたが、楽しい授業でした。」「1年間有難うございました。」「教員としての感想は、心理学科の学生さんは真面目だなと思います。コメントにもそのような事の片鱗が感じられます。「質問に関するトピック」の扱いについて、良いヒントを頂きました。2022年度は期限付きにしたのですが、実は、期限を過ぎてから入力してくる学生がいて、開けてみると「とくになし」と書いてあったりと、こちらの意図がうまく伝わっていないようです。質問のコーナーを一つにまとめるというアイデアはとても良いと思いますので、後期の授業から採用させてもらおうと思いました。
福田 一彦	人間心理	人間心理学基礎	比較的高い評価をいただいたが、少人数のゼミなので、これで低かったらよっぽど酷い授業をやっていることになると思います。自由記述欄に「学校についての相談を出来る機会が今年は少なかったが、この授業では先生に学校生活についての質問や相談することが出来て助かった」というコメントがありましたが、コロナで対面授業が出来ない中、学生さんも誰に何を聞いたら良いのか分からない状態だったのだろうと思われました。
福田 一彦	人間心理	生理心理学演習	3名が受講した演習形式の授業なので評価が高いのは当たり前だと思います。通年の授業なのでお互い大変でしたが、よく頑張りました。
福田 一彦	人間心理	専門ゼミナールI	3年生のゼミ、評価が高くて当たり前ですね。皆さんお疲れさまでした。
福田 一彦	人間心理	専門ゼミナールII	4年生の専門ゼミなので評価が高いのは当たり前だと思います。皆さん、お疲れさまでした。
山本隆一郎	人間心理	人間心理学基礎	この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.7点と高い評価を頂いた。毎年書いていることであるが、この類の少人数制の授業には多く認められることであるが、学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良好さという点が大きく評価に関係している。しかしながら、コロナ禍が継続しオンライン授業の中で、学生間の交流に乏しかったがこうして高い評価を頂いたことは、授業での学び自体の意義を感じてもらえたのではないかと思う。しかし、本授業は、2年制以降の心理学の学び方の基礎が中心でありその真価は次年度以降に認められてくると思う。授業で身につけたことを活かし、心理学の様々な領域の学びを深めてほしいと思う。

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
山本隆一郎	人間心理	臨床心理学概論／臨床心理学	この科目は2年生の通年必修科目であり、膨大で広範な内容に関して学ぶことに加えて、各種臨床心理学モデルの背景にある人間観など、抽象度も高く、学生さんにとっては難しい科目の一つであると考えられる。しかしながら、150名程度の必修科目の全般的な評価としては4.4点と高く、概ね満足度が高かったと考える。部分的に得点が低かったものとして、項目17の「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業運営に努めていた」という項目(3.9点)があったが、授業がオンデマンド授業であったため評価がしにくかったと理解している。授業についても、全員が迷わず受講できるように設計をしたり、授業の双方向性を保つように努めスプレッドシートを用いたQ&Aを作成し、100程度の質問に答えるなど、オンデマンドの特性を生かした授業に努めた。さて、臨床心理学は、勉強するというより学問の探究を通じて人生を考える学問であると伝えてきたつもりである。復習をしたり日常を学んだことで説明しようとしたりすることはきっと人生の役に立つと信じて授業を行ってきた。授業が終わったから終わりではなく、学びを日常生活に活かしていただきたい。
山本隆一郎	人間心理	心理的アセスメント(応用)	この授業評価アンケートは3年生のみに開講されたものに対する回答である(4年生は集中講義で実施したため、それに対するコメントは含まれていない)。この授業は3年次開講の3群科目であり、実際に知能検査(WISC-4)と投射法検査(片口クロッパ法によるロールシャッハテスト)を対面で実施する授業であり、コロナ禍であったことから受講者も少なく2名のみでの授業であった。評価の平均値は4.8点でありほぼすべての項目で5点であった。実習演習系の対面授業であり、意欲の高い学生のみでの参加であったことがこのような結果の理由であったと考えられる。また、内容も他の授業と比較して格段にエフォート(予習復習、課題作成)が非常に大きい授業であったが、公認心理師に興味のある一部の学生にとって非常に意義深い授業であったと考える。
山本隆一郎	人間心理	専門ゼミナールⅠ	この授業は、3年生対象のゼミナールである。学生自身が選択して選んだゼミナールであるため、評価は概して高かった(4.8点)。自由記述への回答は特になかったが、5.0点の項目も複数見られ、概して、満足度や各自が得られたと考えるものも多かったと考えられる。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理	専門ゼミナールⅡ	この授業は、4年生対象のゼミナールである。学生自身が選択して選んだゼミナールであるため、評価は概して高かった(4.8点)。また、他の授業比較しても、質問6の授業外に時間をかけたことを評価する項目も4.4点と高く、主体的なコミットメントをした上で、一定の満足度が得られていると考えられる。自由記述には、感謝の言葉も頂いたが、専門ゼミナールでの情報の批判的検討や事象についての仮説の設定、実現可能な方法を考え問題解決に取り組む営みの真価は卒業後に確認できるのではないかと思う。卒業生の生活に役立つことを期待する。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。
伊藤 彬	経営社会	アスレティックトレーニング論Ⅱ	授業評価アンケートにご回答いただき誠に有難うございました。この科目は完全オンラインでの授業で、毎回の小テストおよびアンケートの提出、定期試験を実施しました。初めてのオンライン授業で、学生の皆さんもずっとPCに向かわなければいけない難しさもあったかと思います。しかし、今回の授業アンケートではほとんどの項目で良い評価であったことから、困難な状況ながらも学生の皆さんが一生懸命取り組んでくれたのだと感じました。特に、「この授業を後輩や他の人に薦めたい」という評価項目では、全学平均を大きく上回る評価を頂きました。これからも継続して教育活動に精進していきます。
吉田 一康	経営社会	企業と法Ⅱ	今回は遠隔講義でしたが、授業に対する率直な評価を頂きまして感謝致します。設問9「授業の内容は分かりやすいものだった」が、4.2と低かったことから、対面の講義とは違った工夫が必要だと考えさせられました。また、12「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」も同様に4.2と低かったことから、やはり、遠隔講義ならではの工夫が必要と考えました。PowerPointによる説明に加えて、図画や動画の活用も検討したいと思っています。設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.1で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.7だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。とりあえず、講義の最後に、次週の予告をの時間をもうけたいと思っています。受講者に関しては、Google Meetへの遅刻の入室者や早期の退出者がややみられましたが、皆、カメラやマイクをオフにして、講義の運営にとっても協力的でした。御礼申し上げます。
浅川陽子	こどもコミュ	こどもと読み聞かせ・絵本	こも科目は、絵本に関する知識と、実践上の技術を身につけることを目的としています。多くの学生が満足のできる授業ができたと思います。「読み聞かせが上達した」「多くの絵本を知り、興味が深まりました」「これから頑張ろうと思える授業でした」などの自由記述からもそのことが伺えます。ただ、予習復習にかける時間が少ない点は改善しなければなりません。工夫をこらしていこうと思います。

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
浅川陽子	こどもコミュ	言語表現の技術	この科目のアンケート結果は、ほぼ全部の設問について全学平均と同等か、それ以上の評価となっています。自由記述には「色々な知識を身につけて技術を向上させることができました」「紙芝居をつくるなどの実践的な課題によって、楽しく学ぶことができました」など満足のいく授業内容だったことが伺われます。ただ、予習復習にかける時間がやや少ない点については、今後の課題です。工夫をこらそうと思います。
村上涼	こどもコミュ	こどもコミュニケーション基礎	1年生の基礎ゼミ（後期）にあたる授業でしたので、1年生同士がコミュニケーションを取りながら大学での学びに必要なリテラシーを習得できるように心がけた授業を行いました。対話によるコミュニケーションに重点を置いたので、学生の皆さんからコメントをいただいたようにゼミメンバーの親睦はとても図れたのですが、予習や復習という個別の学習への働きかけには、改善の余地があると考えています。この授業で、協力して発表すること、協力して調べる、協力して決定するなどの他者との協同で学習をする姿勢については、十分に学ぶことができたのではないのでしょうか、それは、将来保育者になる皆さんに必要なリテラシーです。今後は、復習や予習に必要な資料を提供して、個別の学習を基盤とした協同学習に取り組む授業としたいと考えています。